

● 財政改革

1. 公費負担の改革

① イベントの見直し

5,895 万円 削減
平成 28 年度と 29・30 年度決算額の差額累計

- ※見直しを行わなかった場合との比較
- まつりの統合など 28 件の見直し

単に経費削減をただけではなく、**内容の充実**を図るとともに、**市民ボランティアスタッフの方々の負担軽減**を図ることができました。



▲昨年大盛況だった古城まつり

② 公有財産管理の見直し

5,821 万円 歳入の確保
(平成 30 年度・令和元年度)

- 未利用地を公募により売却

③ 補助金の見直し

2 億 3,832 万円 削減
(平成 29・30 年度決算による累計)

- 全 140 種の補助金を見直し

④ 民間委託等の見直し

約 6,000 万円 節約(平成 30 年度)

- 市の業務に係る委託費の見直し
特に上下水道事業の包括的民間委託導入の中止と委託内容の精査により、**委託料の節約と事務の効率化**を図ることができました。

2. 予算編成改革

① 市債発行額の抑制

- 当初予算において**借入額(起債額)を返済額(償還額)以内に抑制**することにより、借金の残高を約 10 億円削減しました。

$$21 \text{ 億円 (返済額)} - 11 \text{ 億円 (借入額)} = \Delta 10 \text{ 億円}$$

② 予算計上・編成ルールの見直し

- 予算編成における工事請負費と委託料の算出については、従来は任意での見積もり徴収となっていました。2 社以上から徴収したことにより、仕様書の精査や見直しが可能になり、見積内容の精度を高め経費の削減につながりました。

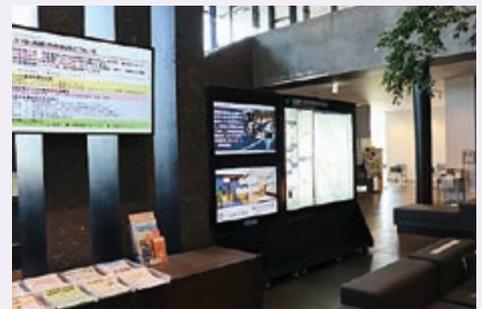
3. 歳入の確保

① 国・県の補助金の活用

- 補助率の高い交付金の選択により、市の財政負担を最小限におさえ、小中学校エアコンや放課後児童クラブ施設の整備が早急に実現しました。

② 様々な手法を用いた歳入確保等

- 市役所 1 階広告付き案内地図板(右写真)、ふるさと納税、広告付き子育てガイドブックなどでも財源を確保しています。



これらの財政改革により得られた財源を、第 3 子以降の学校給食費無償化、18 歳までの医療費助成などの教育・子育ての充実、運転免許返納者支援、介護施設整備や生活に密着したインフラ整備など、各種政策に活用しています。